

カンダにご縁のあった方にお届けします！

第40号

発行日：2011.3

酢豚に「パイナップル」



売れてる商品、話題の商品登場！

この記事は、営業部営業2課の「齋藤 一路」が担当しました。
◆今、売れている商品や話題の商品の情報をご紹介いたします！

只今人気急上昇中のB級グルメ“焼小籠包”
小麦粉の皮で挽き肉を包み、鉄板の上にぎっしりと敷き詰めて蒸し焼きにしたもの。中国では生煎(シェンジェン)と呼ばれ、焼面はパリッと焦げ目がつき、中にはあつあつの肉汁がたっぷりと仕込まれている上海のB級グルメです。
本場の鍋は鉄製で丸く手無しの物。それをまんべんなく火が通るように鍋をぐるぐるんと回転させながら焼き上げます。
それがこの鍋です！



中国から取り寄せた物ですが、地元でも作れるんです。
これが試作した鍋です！！



若干の違いはありますが、なかなかうまくできたでしょう。
実は鉄フライパンの型を利用して深さを浅く絞り、削をできるだけ残して作った特注品です。既存型を利用することによりコストを抑え新製品ができてしまう事もありますので、何かございましたらご連絡下さいませ。



営業部営業1課 西方 勝克

初めまして、(株)カンダ営業一課西方勝克と申します。
私は去年の4月に入社させて頂きました。お客様を知る為、誠心誠意頑張らせて頂いております。年齢27歳、AB型、良く笑います。サッカーをする事が大好きです。私の外見は、がっちりポッチャリ系です。決してガッツリポッチャリ系ではありませんのでお願いします。名前の勝克はなかなか読める方がいません。どこへ行っても「かつかつ」や「かつみ」などでした。一度で呼んで頂くと逆にビックリしてしまいます。これを機に覚えて頂ければ幸いです。私の勝克は「まさよし」と読みますので宜しくお願い致します。



写真は新潟県川口町の冬祭りの一枚です。これは雪でかまくらを作りその中をろうそくの温かい光が覆っているものです。冬の新潟へ来る機会があったら是非行って見て下さい。これからも(株)カンダを宜しくお願い致します。



知って得する！調理器具のマメ知識

この記事は、営業部営業2課の「中野 孝行」が担当しました。
◆このコーナーでは、調理器具のマメ知識やメンテナンス方法をお伝えします。

名入れ方法のあれこれ・・・その②

今回は『庖丁』の名入れ方法についてご案内いたします。
昨今の包丁は素材も豊富になっており、それぞれに応じた名入れ方法があります。ステンレス系等の硬い素材には「ダイヤモンド彫刻」や「レーザー彫刻」。
ハガネや合わせ等の比較的やわらかい素材には「作切」や「刻印」、
何にでもできるものとして「シルク印刷」や「電蝕」があります。
また、それぞれ価格や耐久性にも違いがあります。あわせて、名入れのできる場所も限られます。ご贈答、記念品等にもメッセージをいれることも可能です。名入れのご要望の際には、一度ご確認をお願いいたします。

- ◆ダイヤモンド彫刻
ダイヤモンドを取り付けた専用の切削彫刻機で刀身や口金に彫ります。
- ◆レーザー彫刻
レーザーによる名入れ。コンピュータによる多様な名入れが可能です。
- ◆作切
職人がタガネを使い1丁1丁手作業で彫ります。
- ◆刻印
金型を作りプレス機にて刀身に打ち込みます。
- ◆シルク印刷
刀身に直接印刷する方法です。お好みのカラーデザインで色の組み合わせも可能。
- ◆電蝕
電機と薬品の効果で表面を腐食する方法です。庖丁の名入れでは一般的で、版を作製する必要がありますが、数量がまとまった時には格安になり、納期も早く仕上げられます。



株式会社カンダ
〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL: 0256-63-4541 (代表)
FAX: 0256-64-2960
e-mail: kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/



社長のコラム、ちょっと気になること

この記事は、代表取締役社長の「神田智昭」が担当しました。
◆私が、ちょっと気になること、最近考えていることをご紹介します。

「豚は、カワイイ」

私の学生時代の渾名は、「神ブー」でした。コロコロとして、色白でカワイかったからでしょう。………！

大学時代「ZOO」という野球チームを作っていて、各自、袖のところに動物名でネームを入れるのですが、私は、「BUTA」と入れるくらいでしたから。

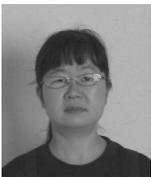
中国では、豚は、富の象徴とされています。太ること＝生活が豊かなことであり、豚のどことなくのほほんとした表情も、浮世の悩みから解放された幸せを連想させ、福の象徴にもなっています。福耳のルーツも豚のように大きく垂れ下がった耳を持つ人となっています。他にも、豚は、一度に十数匹の子供を産むことから、子宝の象徴ともされています。こうして見て行くと豚は、人間がほしいもの、必要としているものをもたらせてくれる存在として古くから親しまれてきたことがわかります。

皆さんは、貯金箱にやたらと『豚』の形をしたものが多いことに疑問を持ったことはありませんか？これも、飼育されている豚は、人間が食べ残した食品を餌に育ち、最終的に豊かな食材を人間に提供してくれ

る。その育つ有様が、普段の消費の中で余った小銭を貯め、満杯になると大きな金額になるという貯金箱の使い道にぴったりなので、豚の形が貯金箱に使われるようになったのです。しかしよく調べるとヨーロッパ、イギリスが豚の貯金箱の発祥の地でした。

それは、お皿や食器は、Pygg(ピッグ)と呼ばれるオレンジ色の粘土で出来ていたのです。主婦たちはこの粘土で出来た壺にコインを貯めだしたので、ピッグの貯金箱として知られるようになった。ある日イギリスの陶芸職人が、PyggとPigを勘違いして豚の形をした貯金箱を作ったところ、これがバカ受けしたのだそうです。

なにはともあれ『豚』は、世界でカワイイの象徴であり、いいことばかりです。そんな豚の渾名を頂いていた私、学生のころを思い出し、がんばります。



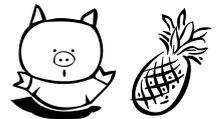
私の趣味自慢！

この記事は、営業部営業事務の「森山 礼子」が担当しました。
◆この欄は、題材フリーにて、当社社員の思うがままをお知らせ致します。

こんにちわ！
本誌2回目の登場になります、森山です。
以前、社員紹介の件でドライブが趣味という事をちらりとお話させて頂きました。去年は、2月に旅行会社のツアーで日帰りで鎌倉に行って来ました。ツアー内容はなかなか良くて、気候も冬と思えないほど暖かくて、良かったのですが、帰りがなんと渋滞&雪で家に帰ったのが午前様になってしまいました……。とっても疲れてしまいました～。

もう一つの趣味は、本を買う事です。本と言ってもほとんど「漫画本」なんですけど、決してオタクではありません！誰

が、好きかというのは、それこそオタクっぽくなっちゃうのであえて触れませんが、浅く幅広い事は確かです。自宅には数えた事はないんですが、一昨年、母に家が壊れるから、少しづつでも良いから、処分して！って言われてしまいました。なので、今、こつこつ読み返してから、古本屋さんを持って行ってます。そして、新しい本が読みたくなったら、レンタルして読んでます。
みなさんは、本は好きですか？
長くなりましたが、今後とも(株)カンダを宜しくお願いします。



酢豚に「パイナップル」

カンダにご縁のあった方
にお届けします！



株式会社カンダ
〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL: 0256-63-4541 (代表)
FAX: 0256-64-2960
e-mail: kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>